

このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
 被災地の皆様の安全と、一日も早い復興を心より祈念いたします。  
 CTCグループにおきましても、社会の復旧に向けて全力で取り組んでまいります。

(震災に関するCTCグループの対応については以下に掲載しております。)  
<http://www.ctc-g.co.jp/info/20110315a.html>

## 目次

- ニュース Citrix『Best CALC of the Year(最優秀教育パートナー)』受賞!
- セミナー Cisco主催『第2回 シスコ ネットワーク 道場』開催!
- キャンペーン 『Cisco CCNPコース提供開始10周年記念キャンペーン』実施!  
 ~ CCNPコースが特別価格(50%OFF) & 期間短縮(最短3日) ~
- トピック 1) VMware認定資格 最新動向!!  
 2) 『Inst. Tech View ~第1回 ペネトレーションテスト~』
- お知らせ メルマガ再開のお知らせ

## ニ ュ ー ス

### ◆◇ Citrix社『Best CALC of the Year(最優秀教育パートナー)』受賞! ◇◆

- シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 (Citrix社)
- Citrixパートナーエグゼクティブカンファレンス  
 『Best CALC of the Year (年間最優秀教育パートナー)』受賞!

2011年2月25日(金)、ANAインターコンチネンタルホテル東京で行われたCitrixパートナーエグゼクティブカンファレンスにおいて、CTC教育サービス(CTCエデュケーションサービス部)は、多くのお客様にご受講頂いた実績と日頃の研修品質が認められ、シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社(Citrix社)より、『Best CALC of the Year (年間最優秀教育パートナー)』を受賞しました。※CALCとは、“Citrix Authorized Learning Center”の略称

受賞の詳細はこちら  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/feature/award.html>

## セ ミ ナ ー

### ◆◇ Cisco社主催『第2回 シスコ ネットワーク 道場』開催! ◇◆

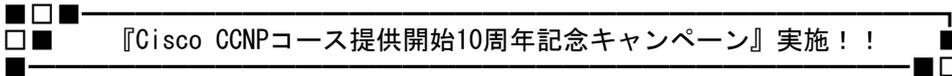
2011年4月28日(木)、シスコシステムズ合同会社主催(Cisco社)による『第2回 シスコ ネットワーク道場』が開催されます。

「シスコ ネットワーク道場」は、エンドユーザの皆様にシスコ認定トレーニングを実際に体験していただく場として、高品質かつ経験豊かな認定インストラクターが実機操作を交えたエンジニア向けトレーニングを、ミニ教室バージョンで実施する内容となっています。

第2回目の今回は、会場を弊社CTCテクノロジー・ラーニングセンター(駒沢)に移し規模を拡大、前回と同様に新しくなったCCNPについての体験コースから、CCNA、CCDA向けのクラスもご用意したセッションとなっております。  
 CTC教育サービスからも認定インストラクターがセッション・スピーカー(講師)として参加致します。  
 ※定員になり次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。

セミナーの詳細はこちら  
[http://www.school.ctc-g.co.jp/news/20110406\\_2.html](http://www.school.ctc-g.co.jp/news/20110406_2.html)

## キ | ヤ | ン | ペ | ー | ン |



Cisco CCNP関連コースが ★特別価格（最大50%OFF）&★期間短縮（最短3日）！  
『Cisco CCNPコース提供開始10周年記念キャンペーン』実施！！  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/landing/ccnp03.html>

CTC教育サービスは、シスコ ラーニング パートナーとしてCCNP関連コースの提供を開始して10周年を迎えました。これまでのご愛好と感謝、並びに皆様のCisco関連技術のスキルアップをサポートさせて頂くために、期間限定の特別キャンペーンを開催致します。

これまで数多くの皆様にご活用頂いております、“CatchUp CCNPシリーズ”を期間短縮（最短3日間）ならびに特別価格（最大50%OFF）でご提供致します。“CatchUpシリーズ”は、認定資格取得を目標とされているエンジニアを対象とし、通常の認定コース内容に試験重要ポイントの解説や試験バウチャーなどをセットにしたオールインワン研修です。今回は更に日頃多忙なエンジニアの方々のために、通常9:30～18:00の講義を9:30～19:00に時間延長することで、期間を5日間から3日間または4日間に短縮、更に特別価格（最大50%OFF）にてご提供致します。

## &lt;キャンペーン概要&gt;

対象期間： 2011年5月～7月 開催コース

対象コース：

- 1) 【10周年記念50%OFF】 CatchUp CCNP ROUTE  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/cisco/N635C2.html>
- 2) 【10周年記念50%OFF】 CatchUp CCNP SWITCH  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/cisco/N636C2.html>
- 3) 【10周年記念50%OFF】 CatchUp CCNP TSHOOT  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/cisco/N637C2.html>

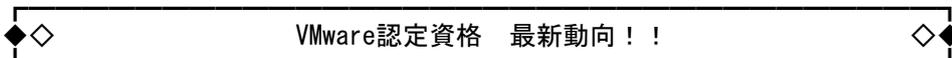
特典：

- 1) お申込先着20名様にCisco社特製ペンライトをプレゼント
- 2) Cisco GPI 購読者全員にCTCオリジナル・トートバッグをプレゼント

『CCNPコース提供開始10周年記念キャンペーン』のキャンペーン詳細はこちら  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/landing/ccnp03.html>

是非この機会にご活用ください！！

## ト | ピ | ッ | ク |



クラウド環境の基盤となる仮想化ソフトウェアの主流の1つであるVMware製品、そのエンジニアスキルを評価するためのVMware認定資格の最新動向についてご報告致します。

## ■VCPの上位資格「VCAP」

昨年、サーバ仮想化の認定資格VCPの上位資格として「VCAP」がリリースされました。

。

サーバ仮想化における主要な認定資格は以下の4つです。

- ・ VCP4 (VMware Certified Professional)
- ・ VCAP4-DCA (VMware Certified Advanced Professional Datacenter Administration)
- ・ VCAP4-DCD (VMware Certified Advanced Professional Datacenter Design)
- ・ VCDX4 (VMware Certified Design Expert)

VCPは、VMware認定資格で最もベーシックな資格、VCAPはVCP取得者の為の上位資格、VCDXは最上級レベルの認定資格です。VCAPには2種類あり、VCAP-DCAとVCAP-DCDに分かれます。VCAP-DCAは、vSphere 技術を活用するスキルを持ち、より複雑な仮想化環境の技術支援に携わるシステム管理者を対象としています。VCAP-DCDは、

大規模環境でVMware 仮想化ソリューションを設計するIT 設計者を対象としています

。

VCAPの取得フローは以下の通りです。

(VCAP-DCAの場合)

【STEP 1】 VCP取得済み

【STEP 2】 以下のいずれかのコースを受講(推奨)

- ・ VMware vSphere: Troubleshooting [V4x]  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/VM20.html>
- ・ VMware vSphere: Manage for Performance [V4x]
- ・ VMware vSphere: Manage and Design for Security [V4x]
- ・ VMware vSphere: Automation with vSphere PowerCLI [V4x]

【STEP 3】 VCAP-DCA試験に合格

(VCAP-DCDの場合)

【STEP 1】 VCP取得済み

【STEP 2】 以下のコースを受講(推奨)

- ・ VMware vSphere: Design Workshop [V4x]  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/VM22.html>

【STEP 3】 VCAP-DCD試験に合格

#### ■新資格「VCA-DT, VCP-DT」

今春、サーバ仮想化に続き、デスクトップ仮想化の新たな資格「VCA-DT」と「VCP-DT」が発表されました。

デスクトップ仮想化における主要な認定資格は以下2つです。

- ・ VCA4-DT (VMware Certified Associate -Desktop)
- ・ VCP4-DT (VMware Certified Professional -Desktop)

VCA4-DTは、VMware View 4.5 を使用し、デスクトップ環境の管理、保守、トラブルシューティングを行う、仮想化環境のIT管理者を対象にしています。

※現在、Beta 試験実施中です。

VCP4-DTは、VMware View 環境のインストール、構築、設定を行い、View クライアントユーザが利用できる環境を整備する仮想化環境のエンジニアを対象にしています。※2011年5月以降開始予定です。

取得フローは以下の通りです。

(VCA4-DTの場合)

【STEP 1】 以下のコースを受講(推奨)

- ・ VMware View 4.5 Fundamentals
- ・ VMware View: Install, Configure, Manage [V4.5]

【STEP 2】 VCA4-DT試験に合格

(VCP4-DTの場合)

【STEP 1】 VCA4-DTおよびVCP4取得済み

【STEP 2】 以下のコースを受講(推奨)

- ・ VMware View: Install, Configure, Manage [V4.5]
- ・ Application Virtualization with VMware ThinApp

【STEP 3】 VCP4-DT試験に合格

随時、VMware関連コースや認定資格の情報を更新しています。

VMwareのコース詳細や試験情報はこちら

<http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/index.html>

◆◇ 『 Inst. Tech View ～第1回 “ペネトレーションテスト”～ 』 ◇◆

今回から始まったこの企画。CTC教育サービスのインストラクター陣が、様々なIT技術について最新動向や重要キーワードをテーマにコラム形式で紹介します。

最近のITクラウド化や情勢不安などを理由に、セキュリティに対して再度注目が集まっています。第1回目となる今回は、セキュリティ分野において是非とも理解しておきたい“ペネトレーションテスト”がテーマです。

ペネトレーションテスト(penetration test)とは、ネットワーク接続された

コンピュータに対して様々なツールを使用して攻撃や侵入行為を実際に行い、システムに既知の脆弱性がないかをテストする手法のことです。情報漏洩や不正アクセスなど、情報セキュリティ関連の事故・事件が増えている昨今、実際にシステムへの侵入を試みるペネトレーションテストの知識は、ITエンジニアにとって必要不可欠なものになりつつあります。

今回は、ペネトレーションテストで使用するツールについて前編と後編に分けて紹介します。前編では事前調査、権限取得のペネトレーションテストで使用するツールを、後編では無線LAN環境のペネトレーションテストで使用するツールを紹介します。

不正侵入行為は大きく事前調査、権限取得、不正行為、後処理の4つのプロセスに分けることができます。ペネトレーションテストで使用するツールは様々存在しますが、今回は事前調査で使用する「Nmap」、パスワード解析(権限取得)で使用する「John the ripper」を紹介します。

●「Nmap」はポート・スキャンツールで、稼動サーバとそのサーバが提供しているサービス(TCPまたはUDPポート)やOSの種類を検出します。

●「John the ripper」はパスワードクラックツールで、パスワードファイルに記述されている暗号化されたパスワードを解析し、元のパスワードを検出します。

これらのツールはフリーソフトとしてインターネット上に公開されていますので誰でも簡単に入手および使用できますが、効果的に使いこなすためにはある程度の知識が必要といえるでしょう。

例えば、TCP FINスキャンを実行した場合、WindowsOSとLinuxOSで同じ応答情報が返ってくるのでしょうか？ それとも異なる応答情報が返ってくるのでしょうか？ パスワード解析手法の種類は1つ？ 解読方法はどのような方法があるの？ 使用するツールは何に対応しているの？ など、システムの脆弱性を検査するためにはツールの使用方法だけではなく、その原理や動作についてもしっかりと理解する必要があります。

CTC教育サービスが提供する「セキュリティファーストステップ」コースでは、これらのツールを実際に使い動作原理や効果的な使用方法などについて学習することで、ペネトレーションテストに対してより深く理解することができます。

コースの詳細情報はこちら  
「セキュリティファーストステップ」  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/security/N470.html>

お | 知 | ら | せ |

◇◇メルマガ再開のお知らせ◇◇

このたびの東日本大震災の影響により、3月中旬に予定しておりました「CTC教育サービス News&Topics」2011年3月号の配信は控えさせて頂きました。今月より、通常通り配信させて頂きまますので、ご清覧ください様お願い申し上げます。

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆CTC教育サービス◆窓口まで  
シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部  
E-Mail: [kyouiku@ctc-g.co.jp](mailto:kyouiku@ctc-g.co.jp) / TEL: 03-5712-8701

#### ●外部委託について

弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社(CTC100%出資子会社)に委託しております。

#### ●本メールマガジン編集・配信責任者

CTC エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一  
所在地: 東京都世田谷区駒沢1-16-7 [ctc\\_edu\\_mail@ctc-g.co.jp](mailto:ctc_edu_mail@ctc-g.co.jp)

#### ●個人情報保護方針

CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。

[http://www.ctc-g.co.jp/guide/security\\_policy.html?top=b\\_security](http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security)

#### ●配信中止及びお問合せ対応について

・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が不要な場合には、下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。

<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>

ctc20110421

- ・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。
  - ・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時 ctc\_edu\_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。
-